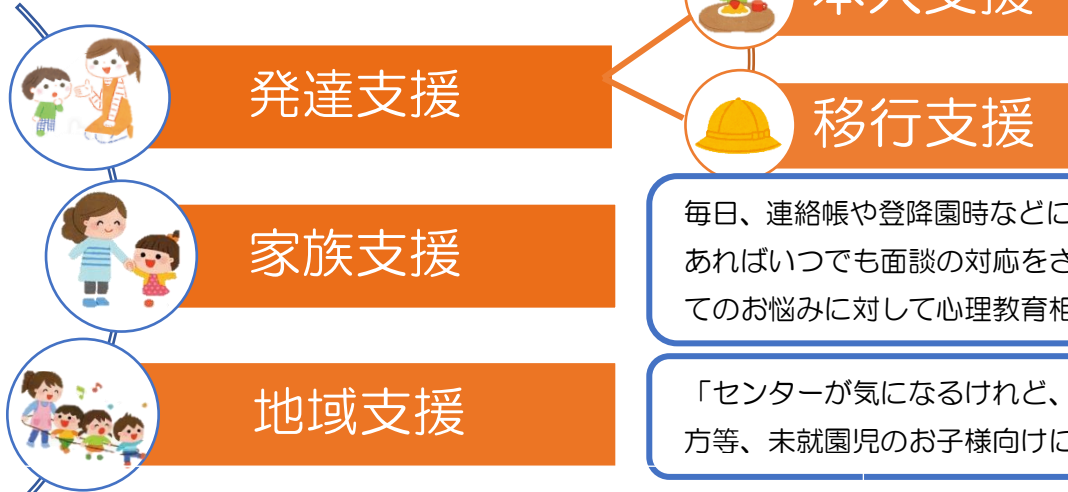


玉島児童発達支援センター

児童発達支援センターとしての役割



移行支援

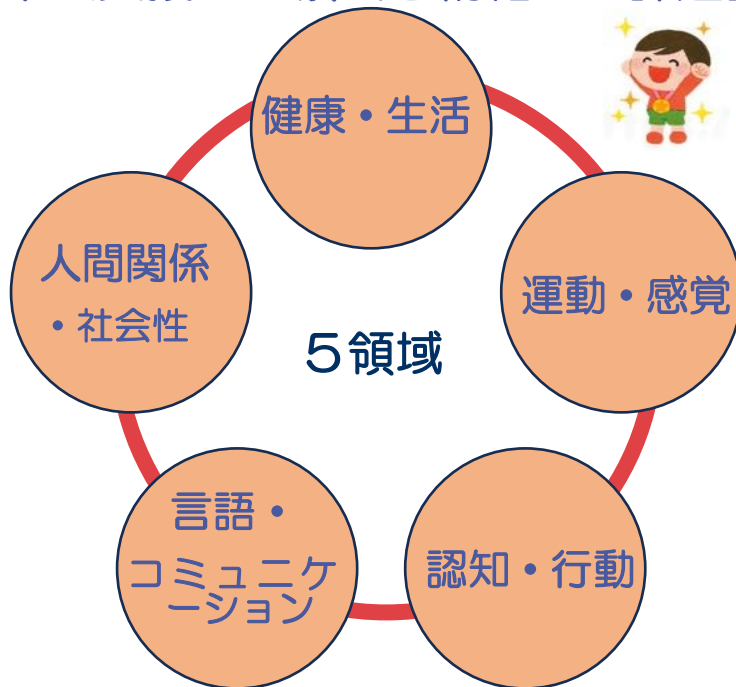
センターでは年に2回、面談前に移行についての保護者様のニーズの確認をさせて頂いています。ご希望があれば移行することで見込まれる成長や環境の変化に伴う影響等についてご説明をさせて頂き、最終的な保護者様の意向をお尋ねするようにしています。また、同年代のお子さんとの交流を図るため、地域の幼稚園や、保育園のお子さんとの交流会を年に数回計画しています。

毎日、連絡帳や登降園時などにお子様の気になる点について保護者様とお話をさせて頂いたり、ご希望があればいつでも面談の対応をさせて頂いています。また、情報や友達の和が広がる保護者会の開催や子育てのお悩みに対して心理教育相談や専門の先生をお呼びしての講演会などもさせて頂いています。

「センターが気になるけれど、どんなところなのか不安がある」方や「お子さんの発達について気になる」方等、未就園児のお子様向けにバンビーナという子育て支援を6月から11月の間、開催しています。

本人支援：5領域を網羅した課題設定

玉島児童発達支援センターでは5領域の内容に対応した支援を実施しています。お子様の発達段階に合わせた課題を設定し、スモールステップでお子様の「できた!!」を増やし、お子様の自己肯定感を育てていきます。



領域	取り組み課題例の一部
健康・生活	着替え・食事・うがい・はみがき・排泄・持ち物の整理・片付け スケジュール（見通しをもつ・きりかえの練習）
運動・感覚	微細運動（シール貼り・ブロック・ボタン掛け・食具の練習・ひも通し等） 粗大運動（動物歩き・トランポリン・マラソン）感覚遊び
認知・行動	模倣・お絵描き・おもちゃ遊び（積み木、ブロック、粘土、ボール） 物の名前を覚える・指示理解・記憶保持の練習
言語・コミュニケーション	追視・相手の目を見る・写真・絵カード・指さし・ジェスチャーを使用した コミュニケーションの練習、「ちょうだい」「いや」など相手に要求を伝える練習
人間関係・社会性	ルール理解・当番活動・人との距離感・勝ち負けを知る（負けても良い、チャレンジすることの素晴らしさを知る）